



# 2026年3月期第1四半期 決算概要



2025年8月8日  
宝ホールディングス株式会社



# 内容

---

1. 業績サマリー
2. 事業別 業績
3. 宝酒造 業績
4. 宝酒造 営業利益増減分析＜対前期＞
5. 宝酒造インターナショナルグループ 業績
6. 宝酒造インターナショナルグループ 主要子会社業績
7. 宝酒造インターナショナルグループ 営業利益増減分析＜対前期＞
8. 宝酒造インターナショナルグループ 海外酒類事業 営業利益増減分析＜対前期＞
9. 宝酒造インターナショナルグループ 海外日本食材卸事業 営業利益増減分析＜対前期＞
10. タカラバイオグループ 業績

# 1.2026年3月期 第1四半期 宝ホールディングス（連結） 業績サマリー

(百万円)

	2026年3月期 第1四半期 業績	前期比 (%)
売上高	93,348	+9.9
売上総利益	30,898	+12.9
営業利益	3,456	▲ 15.0
経常利益	3,471	▲ 27.5
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	4,145	▲ 19.8
	2026年3月期 第1四半期 業績	2025年3月期 第1四半期 業績
海外売上高比率 (タカラバイオグループ除く)	62.1% (60.9%)	58.0% (56.3%)

## 前期比

連結売上高は、前期比プラス9.9%、  
連結営業利益は、前期比マイナス15.0%、  
為替差損による営業外費用が増加し、連結  
経常利益は前期比マイナス27.5%となりました。  
また、政策保有株式の売却を含めた特別利益が  
23億5,100万円、固定資産の除売却などに  
よる特別損失を4,600万円計上し、親会社  
株主に帰属する四半期純利益は、前期比  
マイナス19.8%となりました。

# 1.2026年3月期 第1四半期 業績サマリー

---

## ・ 宝酒造

売上高は、前期比マイナス2.2%の減収となりました。ソフトアルコール飲料、原料用アルコール等は増加したものの、焼酎、清酒、その他酒類は減少しました。

営業利益は、前期比マイナス34.5%の減益となりました。売上高の減少に加え、原料米や容包品のコストアップおよび為替の影響により売上総利益が減少し、さらに重点ブランド育成のための広告宣伝費を積極的に投下したことによるものです。

## ・ 宝酒造インターナショナルグループ

売上高は、前期比プラス19.0%となりました。海外酒類事業は、バーボンウイスキーを販売するアメリカのエイジ・インターナショナル社が価格改定効果や、高価格帯商品の拡売により好調に推移し、海外日本食材卸事業は、既存事業が前年を上回って推移したことに加え、M&Aによる業績の上乗せ、円安の寄与もあり増収となりました。

営業利益は、前期比マイナス0.9%の減益となりました。

海外酒類事業はエイジ・インターナショナル社が牽引した結果、前期比プラス91.2%の大幅な増益となりましたが、海外日本食材卸事業において、M&Aによる上乗せはあったものの、既存事業では汎用品での価格競争の激化により売上総利益が減少し、拠点拡大などによる人件費や倉庫料をはじめとした販売費及び一般管理費が増加したことで、前期比マイナス59.3%の減益となりました。

# 1.2026年3月期 第1四半期 業績サマリー

---

## ・ タカラバイオグループ

売上高は、試薬、受託および遺伝子医療のカテゴリーで前年を上回り、前期比プラス9.1%の増収となりました。

売上構成の変化の影響などにより、売上総利益は前期比プラス14.9%の増益となりましたが、空間解析用試薬を開発するアメリカのCurio社の買収に関する費用およびのれん償却費を計上したことなどから、販売費及び一般管理費が増加し、17億9,600万円の営業損失となりました。

## 2.2026年3月期 第1四半期 事業別 業績

(百万円)

		2026年3月期 第1四半期 業績	前期からの増減	前期比 (%)
宝酒造	売上高	29,521	▲ 649	▲ 2.2
	売上総利益	7,394	▲ 234	▲ 3.1
	営業利益	995	▲ 524	▲ 34.5
宝酒造 インターナショナル グループ	売上高	51,453	8,232	+19.0
	売上総利益	17,337	3,011	+21.0
	営業利益	3,651	▲ 31	▲ 0.9
タカラバイオ グループ	売上高	9,266	772	+9.1
	売上総利益	5,003	649	+14.9
	営業利益	▲ 1,796	▲ 161	—

### 3.2026年3月期 第1四半期 宝酒造 業績

#### ◇損益計算書（売上高～営業利益）

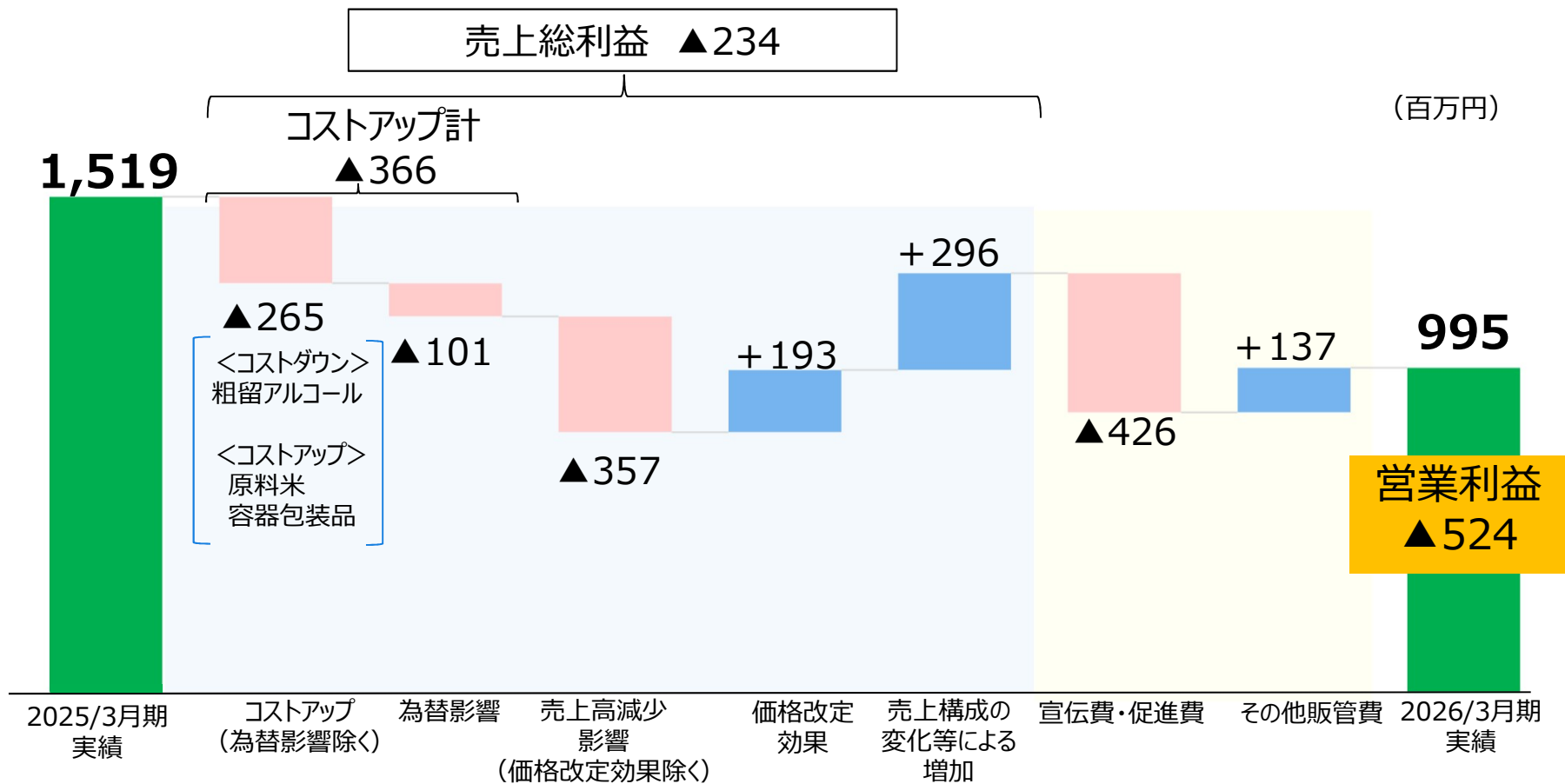
（百万円）

		2026年3月期 第1四半期 業績	前期比	
			増減	率(%)
	焼酎	8,093	▲ 628	▲ 7.2
	清酒	1,989	▲ 120	▲ 5.7
	ソフトアルコール飲料	10,646	155	+1.5
	その他の酒類	1,065	▲ 369	▲ 25.7
	本みりん	2,402	▲ 5	▲ 0.2
	その他の調味料	2,310	30	+1.3
	原料用アルコール等	3,014	289	+10.6
売上高		29,521	▲ 649	▲ 2.2
売上総利益		7,394	▲ 234	▲ 3.1
販売費及び一般管理費		6,399	289	+4.7
営業利益		995	▲ 524	▲ 34.5

## 4.2026年3月期 第1四半期 宝酒造 営業利益増減分析 <対前期>

為替影響を含むコストアップや、焼酎、清酒などの売上高の減少があり、価格改定効果や売上構成の変化等による増加があったものの、売上総利益が減少し、重点ブランド育成のための宣伝費を積極的に投下したことで、営業利益は減益

◇対前期営業利益増減分析（利益の増加要因を「+」、減少要因を「▲」で表示）





## 5.2026年3月期 第1四半期 宝酒造インターナショナルグループ 業績

### ◇損益計算書（売上高～営業利益）

（百万円）

		2026年3月期 第1四半期 業績	前期比		為替レート影響額 前期比
			増減	率(%)	
	海外酒類	6,892	1,289	+23.0	161
	海外日本食材卸	45,218	6,933	+18.1	567
	その他	193	▲ 13	▲ 6.7	▲ 18
	連結消去	▲ 851	23	－	
売上高		51,453	8,232	+19.0	710
売上総利益		17,337	3,011	+21.0	
販売費及び一般管理費		13,685	3,042	+28.6	
	海外酒類	3,002	1,432	+91.2	
	海外日本食材卸	994	▲ 1,451	▲ 59.3	
	その他	▲ 189	▲ 36	－	
	連結消去	▲ 155	23	－	
営業利益		3,651	▲ 31	▲ 0.9	

## 6.2026年3月期 第1四半期 宝酒造インターナショナルグループ主要子会社 業績

		2025年3月期 第1四半期 業績		2026年3月期 第1四半期 業績	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益
米国宝酒造	千USドル	12,011	1,510	<b>11,593</b>	<b>1,692</b>
	百万円	1,785	224	<b>1,768</b>	<b>258</b>
宝酒造食品（中国）	千元	10,209	▲ 688	<b>9,317</b>	<b>▲ 740</b>
	百万円	210	▲ 14	<b>195</b>	<b>▲ 15</b>
トマーチン（英国）	千ポンド	5,980	2,316	<b>3,686</b>	<b>467</b>
	百万円	1,127	436	<b>708</b>	<b>89</b>
Iヰ・インターナショナル（米国）	千USドル	15,132	6,677	<b>25,616</b>	<b>17,633</b>
	百万円	2,248	992	<b>3,908</b>	<b>2,690</b>
フーデックス（欧州）	千ユーロ	43,306	2,665	<b>40,726</b>	<b>1,218</b>
	百万円	6,986	430	<b>6,538</b>	<b>195</b>
コミンポート（欧州）	千ユーロ	22,392	2,632	<b>23,222</b>	<b>1,633</b>
	百万円	3,612	424	<b>3,728</b>	<b>262</b>
カーゲラー（欧州）	千ユーロ	—	—	<b>25,903</b>	<b>2,031</b>
	百万円	—	—	<b>4,158</b>	<b>326</b>
タザキフーズ（英国）	千ポンド	19,510	1,906	<b>25,470</b>	<b>661</b>
	百万円	3,677	359	<b>4,894</b>	<b>127</b>
ミューチャルトレーディング（米国）	千USドル	147,670	8,002	<b>155,192</b>	<b>3,321</b>
	百万円	21,946	1,189	<b>23,676</b>	<b>506</b>
ニッポンフード（豪州）	千AUSドル	16,900	1,060	<b>18,660</b>	<b>712</b>
	百万円	1,650	103	<b>1,786</b>	<b>68</b>
東京共同貿易	百万円	4,024	192	<b>4,198</b>	<b>184</b>

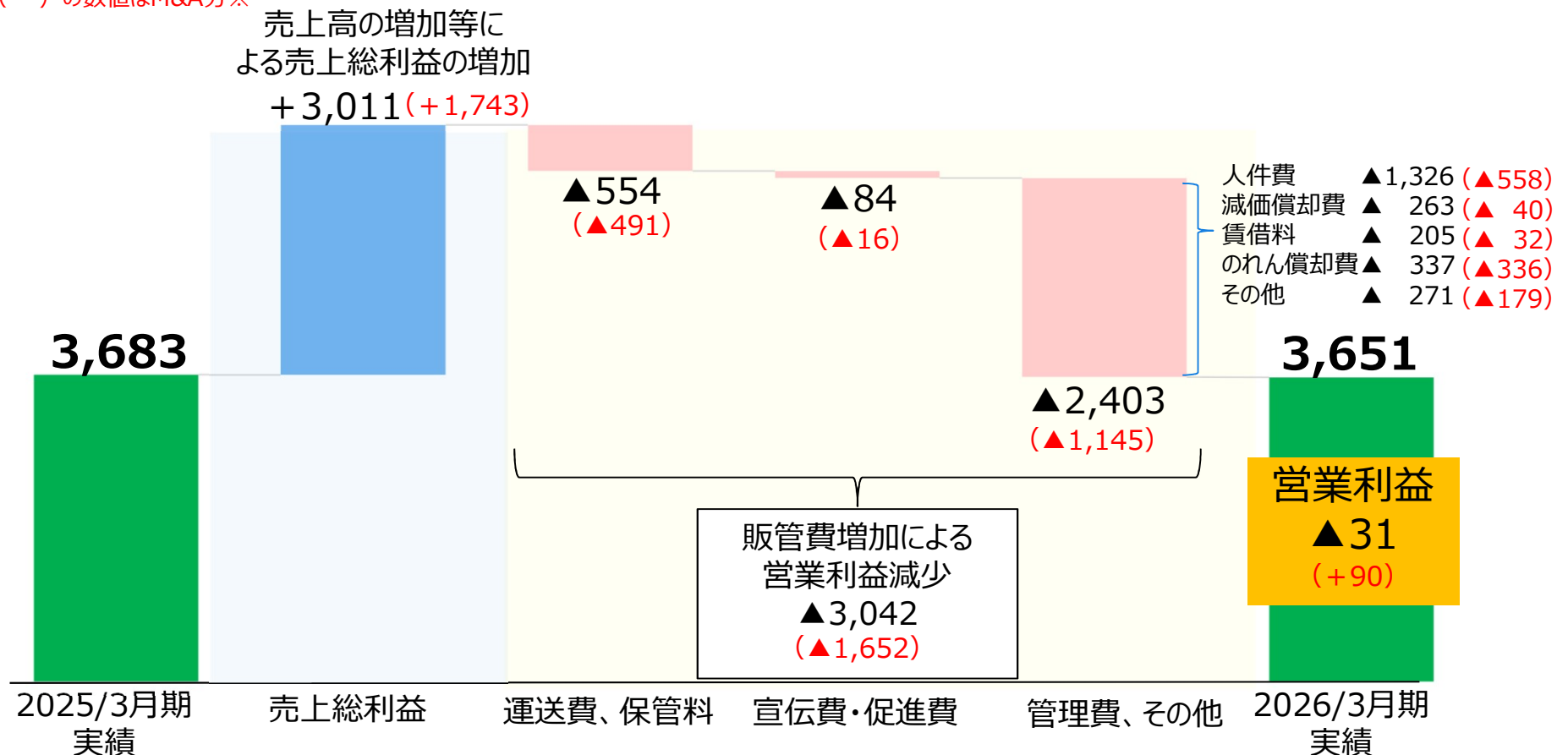
## 7.2026年3月期 第1四半期 宝酒造インターナショナルグループ 営業利益増減分析 <対前期>

売上高の増加等に加えてM&A効果もあり、売上総利益が増加するも、人件費などの販管費の増加が上回り、営業利益は減益

### ◇対前期営業利益増減分析 (利益の増加要因を「+」、減少要因を「▲」で表示)

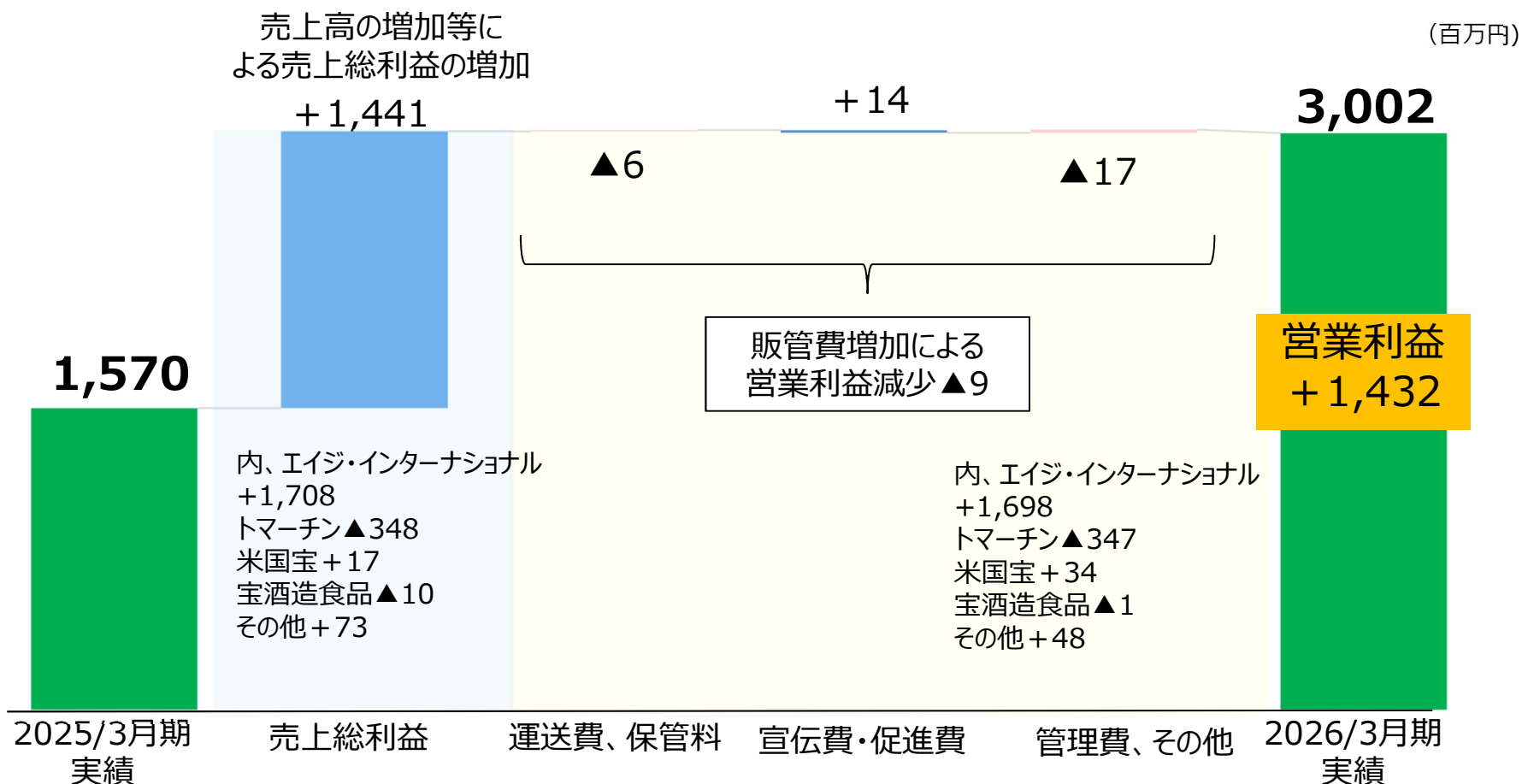
(百万円)

( ) の数値はM&A分※



売上高の増加等により売上総利益が増加したことで、営業利益は大幅増益

◇海外酒類事業 対前期営業利益増減分析 (利益の増加要因を「+」、減少要因を「▲」で表示)

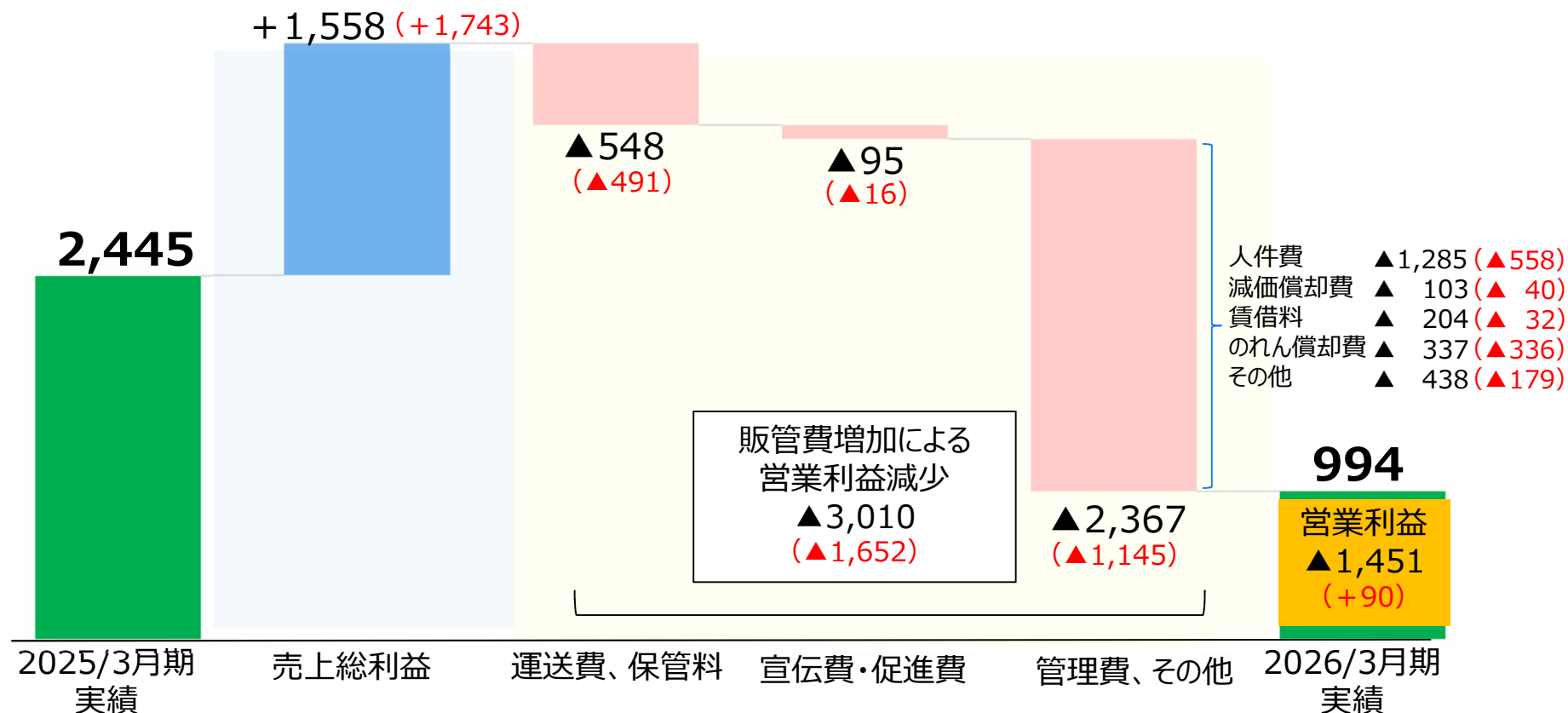


M&A効果による売上総利益および営業利益の上乗せはあるものの、既存事業では汎用品での価格競争の激化により売上総利益が減少し、拠点拡大などによる人件費や倉庫料をはじめとした販管費が増加したことで、減益

◇海外日本食材卸事業 対前期営業利益増減分析 (利益の増加要因を「+」、減少要因を「▲」で表示)

( ) の数値はM&A分※ 売上高の増加等による売上総利益の増加

(百万円)



## 10.2026年3月期 第1四半期 タカラバイオグループ 業績

### ◇損益計算書（売上高～営業利益）

(百万円)

		2026年3月期 第1四半期 業績	前期比	
			増減	率(%)
	試薬	6,986	379	+5.7
	機器	173	▲ 47	▲ 21.6
	受託	1,178	160	+15.8
	遺伝子医療	927	280	+43.3
売上高		9,266	772	+9.1
売上総利益		5,003	649	+14.9
販売費及び一般管理費		6,800	811	+13.6
営業利益		▲ 1,796	▲ 161	－



＜お問合せ先＞  
宝ホールディングス株式会社  
広報・I R 部  
E-Mail [ir@takara.co.jp](mailto:ir@takara.co.jp)  
TEL 075-241-5124

